

政治って何だろう？

政治は批判されてばかりの印象です。「この制度がある(ない)から駄目だ。」「これにお金をかけ過ぎだ。」「もっとこれにお金をかけた方が良い。」百人いたら、百人が賛成する場面を見た事がありません。ただ、これは当たり前前の事です。何故なら「政治課題」とは「合理的な答えがでないものを扱っているからだ。」という仮説を持っているからです。逆にみんながみんな賛成のものは、自動的に決定され、政治課題として扱われません。例えば、地方政治の大切な施策に「予見できない事に予防線を張る必要」があります。ただ、これには当然ですが不確定要素が多々あり、危機意識の大小により、様々な見解に分かれます。「全力でお金をかけて予防線を張る必要がある。」「他の政策のバランスを見て、適度にお金をかけ予防線を張る必要がある。」等。結果、どんな決定でも批判されてしまう事になります。違う言い方をすれば、批判される事が政治家の役割(?)になります。その上でやはり私は、『「団体」や「企業」も含めて、分け隔て無くいろいろな意見・考えを聞いた上で、自分の良心に従って意見を構築する。その上で、恐れを持たずみんなにその意見を正確に伝える。そして、異なる意見の人に対して、真摯に説得を行い、ひとりでも多く理解してもらおう努力を行う。という行動を愚直に生涯を通じて行う事が肝要』を信条として取り組んでいきたいと考えています。今後、場面場面で、みなさんが私の決断や行動に批判的に感じる場面が多々あると思います。ただ、その上で、飽くまで冷静に将来を見据えて、市川市にとって、私たちににとって、最良だと思う決断・行動をとっていききたい！と考えています。この切り口でもう少し、お伝えしたい事がありますが、紙面の都合もありますので、次々回、少し違うテーマで改めて述べさせていただきます。試行錯誤の毎日です。難しいテーマである事は重々承知しているのですが、やはり言いたい事はひとつです。みなさんで「今後もベストな状態の市川市」を思い描き、話し合っただ下さい。個々人の想いが集まっていけば、良い社会、街が形成されていきます。

今日も1日、素敵な日を過ごせますように。気をつけて行ってらっしゃいませ！

平成24年1月10日

増田好秀